

# 「アクティブ・コミュニケーション・ふれいんぐ2015」(28時間扱い)

授業者 阿部 智

## 《題材について》

目標： 繰り返し園児と触れ合い、そこから得た情報を整理・分析していく中で、人とかかわるために必要なことに気付くことができるようにする。

本題材は、自分たちよりも幼い幼稚園児とのかかわりを通して、相手の立場に立った見方・考え方を高め、人とよりよくかかわるためのスキルを自覚化して、身に付けていくことを目指す。

本校と附属幼稚園は隣接しているが、学校生活において関わりは少ない。子供たちの認識でも、幼稚園は卒園生であってもすでに過去のものであり、関わりが無い児童にとっては、なおさら幼稚園は「景色」の一部としてしか認識されていない。

そこで、幼稚園の先生からの手紙をきっかけに、幼稚園へ興味や関心を向ける動機付けをする。そして、園児との遊びの交流会を計画していく。そのために事前調査などで得た情報を整理・分析していく中で、園児の立場に立った見方・考え方を高めることができるようにする。

## 《題材の評価規準》

- |    |                                                                                                  |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 評1 | ○ 学習の目的を意識しながら学習計画を立て、追究するために有効な方法を考えようとする。<br>[学びの見通し]                                          |
| 評2 | ○ 設定した課題を追究するために、幼稚園との触れ合いやゲストティーチャー (GT) から得た情報について、効果的な整理・分析を行い、その結果を幼稚園との交流に生かす。<br>[課題追究の方法] |
| 評3 | ○ 課題を追究することを通して、互いのよさを認め合うとともに、見方や考え方を高めながら自分のよさや可能性に気づき、自己の生活につなげようとする。<br>[行いや生き方へのひろがり]       |

## 《本題材におけるアクティブ・ラーニングで育てていく資質・能力》

### 自主的・主体的な課題解決

- ・課題を明確にして、解決の見通しをもつ
- ・考えや情報を整理する
- ・自分の学習を振り返り、次の学習に生かす

#### 本題材における活動の姿

幼稚園との交流会を設定することで、そこに向けてどのような活動が必要か考えていく。

園児とのかかわりやゲストティーチャーなどから得た情報を、交流会を成功させるために、思考ツールを活用して整理・分析をしていく。

ポートフォリオの活用を通して園児とのかかわりを振り返り、自己の変容を視覚的に確認することで、人とかかわるために大切なことを自覚する。

### 協同的な課題解決

- ・協同する
- ・協同することの価値に気付く

#### 本題材における活動の姿

園児との触れ合いや交流会の企画などの際、思考ツールの活用を通して、お互いの考えを伝え合い、次の課題解決に向けて、新たな視点を見出していく。

子供同士の意見を交流しながら、学習したことを振り返る活動を通して、新たな学習活動を計画する場を設定する。その中で、子供たちがともに協力して取り組むよさを思い出し、協同的に学んでいく活動を進んで取り入れる。

## 《研究との関わり》

自主的・主体的な課題解決や協同的な課題解決を進めることができるよう、課題設定の在り方や振り返りの在り方の支援を表すと、以下ようになる。

	自主的・主体的な課題解決のために	協同的な課題解決のために
課題設定の在り方	<p><b>課題に切実感をもたせる手立て(幼稚園からの手紙)</b> 幼稚園は、日頃の生活の中では身近では無い。しかし、毎日の登下校や休み時間などで、隣接する幼稚園の様子は目にしている。そんな近くて遠い存在の幼稚園との心理的距離を近付けるきっかけとなるよう、幼稚園からの手紙により、遊びの招待をしてもらうようにする。そうすることで、子どもたちの中に、園児とかがわる必要感が生まれ、同時にかかわるために何が必要なか考えるようになっていく。</p> <p><b>課題を明確にするための手立て(思考ツールの活用【カード&amp;KJ法】)</b> 課題を明確にするとは、子供たち自身が抱えている課題意識を視覚化し、それらを整理していくことだと考える。本題材では、カードに園児との触れ合いから気付いたことを思いっくままに書き、KJ法でそれらを分類・分析していくことで、課題設定につなげていく。</p>	<p><b>協同的な活動が生まれる課題の設定</b> 幼稚園から手紙をもらった子供たちは、「幼稚園の子供たちと遊びたい」と意欲的に考えるだろう。そのときに、教師から「何のために遊びに行くの?」と問いかける。そうすると、子供たちは「幼稚園の先生は、どうして遊びに来てほしいと言ってきたんだろう。」「何をして遊ぼうかな。」と、遊び方について考えるようになる。そのような話合いの中で、教師から「自分たちだけが楽しめる交流でいいの?」と投げかける。このことで「幼稚園の子供も、自分たちも楽しめる交流会をひらこう」という課題を子供たちが導き出すだろう。</p> <p>このように、お互いが楽しめる交流会をひらく、という課題設定により、幼稚園児との互恵性を生む活動が生まれ、またそのためには仲間と協力して課題を解決していかなくてはならない、という切実感が必然的に生まれてくると考える。</p>

振り返りの在り方

**学びが自分の成長につながっていることを自覚するための手立て（ポートフォリオの活用）**

子供たちは、目の前にある課題を解決するために一生懸命取り組んでいる。その積み重ねをポートフォリオという形で蓄積し、それを見返す活動を取り入れる。そうすることで、自分の学びの変遷を自覚的に理解し、次への課題解決に向けて、意欲的に見通しをもって活動できるようになると考える。

**新たな課題の見通しをもつことができる振り返りの手立て（思考ツールの活用【ダイヤモンドランキング】）**

ダイヤモンドランキングは、選んだ9種類のカードを並べ替えながら、大切だと思うものを決定していくツールである。カードを操作する活動を通し、その理由を考えたり、根拠を示したりしながら思考を深めていくことが大切である。この活動の中で、子どもたちは、今までの学びを振り返りながら、園児とのかかわりで大切なことを多面的に考えたり、比較しながら考えたりする。そうすることで新たな課題意識が高まり、自主的・主体的に課題解決への見通しを立てることができると考える。

**協同することの価値を実感する手立て（思考ツール【クラゲチャート】）**

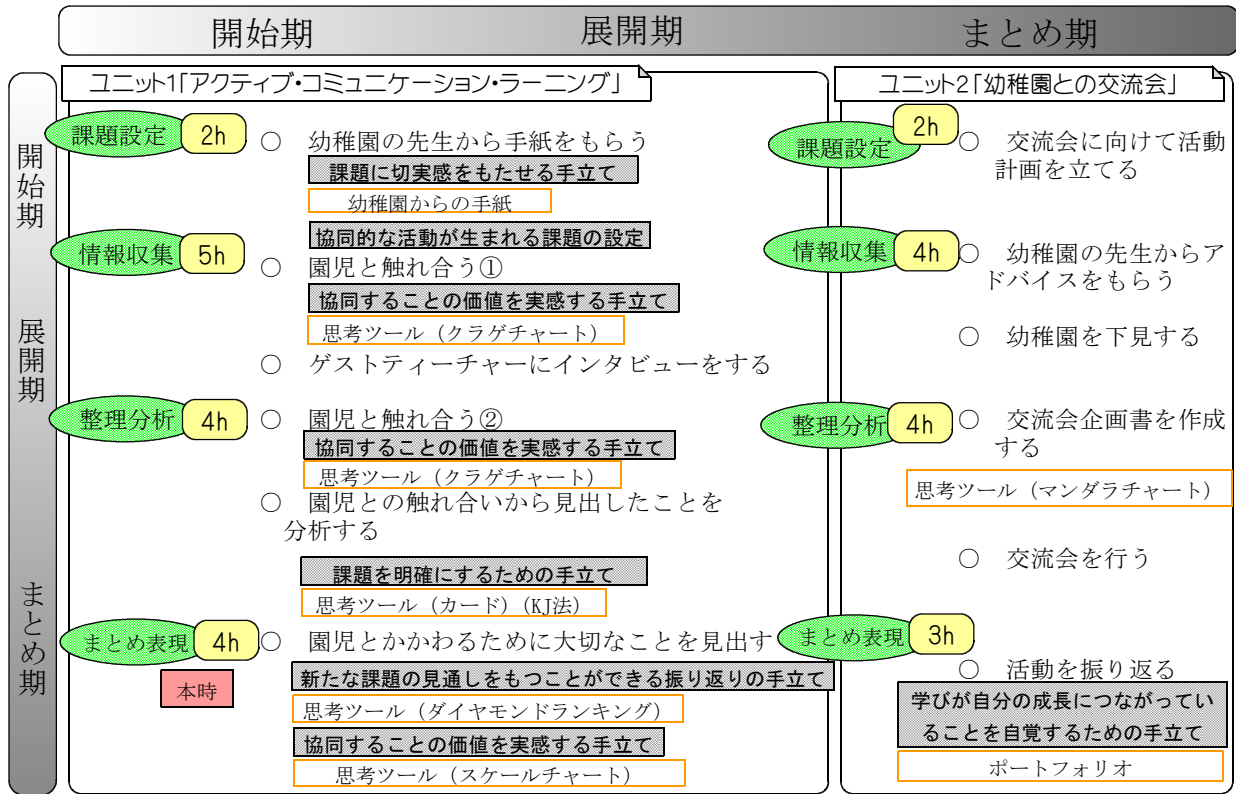
クラゲチャートは、主張や根拠の理由を探す場合や、出来事の原因や要因を探す場合に活用する。今回は、園児との触れ合いを通して、気付いたことを振り返り、改善点を見出すために活用する。このツールを活用することで、複数の視点から協同的に改善点を見出すことを促し、互いの学習の成果が学習に生かされていく意識がもてるようにする。

**協同することの価値を実感する手立て（思考ツール【スケールチャート】）**

本題材では、これからの学習活動の見通しを明確にし、協同的に活動をする価値を考えながら学習計画を立てることができるようになるため、スケールチャートを活用する。

子供たちは、学習計画を立てる際、それぞれの学習活動を個別に取り組むか、協同的に取り組むか判断する。その判断には、今までの学習経験が反映されており、協同的に活動に取り組むよさを思い出しながら、子供たちは話し合いを進めていくだろう。

《題材のグランドデザイン》



《題材計画》

ユニット1「アクティブ・コミュニケーション・ラーニング」（人とかかわりで大切なことを学ぶ）

15 時間

	学習活動（○）と子供の姿	教師の支援（☆）と評価（◇）
開始期	○ 幼稚園からの手紙を聞く。 幼稚園の先生、見ていたんだ。 幼稚園の子どもたちと遊びたい。 でも、何するの？ いつ行くの？	☆ 幼稚園とかかわりのきっかけとなるよう、幼稚園から遊びの招待をする内容の手紙を用意する。【課題に切実感をもたせる手立て】手紙の内容 『いつも、お庭やグランドで元気よく遊んでいるみなさんを見ています。この前も、地図を見ながら近くまで来ていましたね。スポーツ祭では、がんばるすがたがととてもりっぱでした。幼稚園の子どもたちも、はやくおとな

開始期

遊びに行く計画を立てないといけないな。

りの小学校に行っていっしょに遊びたいな、  
と言っています。  
こんなに近くにいるのに、あまり触れ合う  
ことがありませんね。もしよかったら、みな  
さん幼稚園に来て、幼稚園の子どもたちと遊  
びませんか？  
幼稚園の子どもたちは、大きいお兄さん、  
おねえさんと遊ぶのが大好きです。待ってま  
す。』

○課題を設定する。

幼稚園の先生は、どうして  
わたしたちに来てほしいと  
言ったんだろう。

幼稚園の子どもたちも楽しめ  
なきゃね。ちゃんと準備を  
しないと。

3年生として、どんなこと  
ができるかな。

そうだ、ぼくたちがお世話  
をしなければね。

**幼稚園の子ども、自分たちも楽しめる交流会をひらこう。**

☆ どのような方針での遊びを作っていくか子  
どもたちが考えるよう言葉がけをする。

☆ 自分主体の活動思考から相手の存在を認め、  
相手のことを含めた思考ができるように、多  
面的に考えるよう促す。(相手意識の芽生え)

◇ 気付いたことから課題を見出そうとしてい  
る。 **評1**

**☆ 相手意識をもち、集団で解決を目指す課題  
を設定する。  
【協同的な活動が生まれる課題の設定】**

展開期

○ 園児と触れ合う①

楽しんでくれてうれしい。

泣いた子がいるぞ。どうし  
よう…。

ぼくも楽しめたけど、もっといろいろしたかったな。

○ 園児と触れ合う①を振り返る。

楽しく遊べたよ。

うまく遊ぶことができない  
時もあった。

いろいろ考えてから遊ばな  
いとダメそうだよ。

分からないことがいっぱい  
だ。

○ ゲストティーチャーからアドバイスを受ける。

○ ゲストティーチャーの話を振り返る。

幼稚園の子どもたちが、何  
が喜ぶのか分ったぞ。

私たちの遊び方じゃ、お互  
いが楽しめないかも。

○ 園児と触れ合う②

前回のふれ合いを思い出して、  
遊び方を工夫しよう。

まだ分からないことがあつ  
たから、ほかの先生にもふ  
れ合いの時にインタビュー  
しよう。

幼稚園の子どもたちといっぱい遊ぶことで、  
知りたいことを調べよう。

○ 園児と触れ合う②を振り返る。

けっこう色々なことができ  
そうだよ。

幼稚園の子どもたちが、で  
きることにむずかしいとこ  
ろがわかってきたぞ。

トラブルが起きないように  
する方法をみんなで話し合  
いたいな。

もっと楽しんでもらえる交  
流会を考えたいな。

☆ 園児との触れ合いから気付いたことを整理  
し、次の課題を見出していく中で、互いの学  
びが学習に活かされていることが実感できる  
よう、思考ツール(クラゲチャート)を活用  
する。**【協同することの価値を実感する手立て】**

◇ 課題を追究するための有効な方法を考えよ  
うとしている。 **評1**

☆ 園児との触れ合いから見出すべき課題を導  
き出すことができるように、触れ合いにかか  
わっていた幼稚園の先生をゲストティーチャー  
として呼び、アドバイスを受ける。

◇ 園児との触れ合いやゲストティーチャーから  
得た情報について、思考ツールを活用する  
ことで整理・分析を行い、その結果を幼稚園  
との交流に生かす。 **評2**

☆ 園児との触れ合いから気付いたことを整理  
し、次の課題を見出していく中で、互いの学  
びが学習に活かされていることが実感できる  
よう、思考ツール(クラゲチャート)を活用  
する。**【協同することの価値を実感する手立て】**

☆ 園児との触れ合いから得た情報を分類し、  
分析をすることを通して、交流会に向けての  
課題を明確にすることができるよう、思考ツ  
ール(カードとKJ法)を活用する。  
**【課題を明確にするための手立て】**

本時	<p>○ 園児とかかわるために大切なことを見出す。</p> <p>何が好きか調べること。そのため一緒に遊ぶこと。</p> <p>一緒に遊ぶことで、幼稚園の子ども一人一人の性格などを知ること。</p> <p>みんなで話し合っていると、大切なことって何が一番ではなくて、すべて関わって合っていて大切なんだね。</p> <p>大切なことってたくさんあるね。</p> <p>気付いたことをもとに、交流会を成功させよう！</p>	<p>◇ 幼稚園との交流会に向けて、園児とのふれ合いから得た情報について、思考ツールを活用して整理・分析を行っている。 <span style="float: right;">[評2]</span></p> <p>◇ 互いの取組のよさを認め合いながら、見方や考え方を高めようとしている。 <span style="float: right;">[評3]</span></p> <p>☆ <u>交流会を計画するために、今までの経験をふり返り、園児とかかわるために大切なことを見出すために、思考ツール（ダイヤモンドランキング）を活用する。【新たな課題の見通しをもつことができる振り返りの手立て】</u></p> <p>☆ <u>学習活動の見通しを明確にし、協同的に活動をする価値を考えながら学習計画を立てることができるようにするため、思考ツール（スケールチャート）を活用する。【協同することの価値を実感する手立て】</u></p>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ユニット2「幼稚園との交流会」（学びを生かして実践する） 13時間

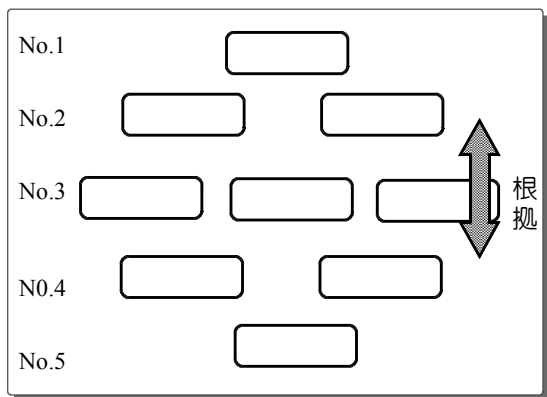
	学習活動（○）と子供の姿	教師の支援（☆）と評価（◇）
開始期	<p>○ 交流会に向けて活動計画を立てる。</p> <p>プレ交流での内容を見直して、本番の交流に向けて準備しよう。</p> <p>また、幼稚園の先生にアドバイスをもらいたいな。</p>	<p>◇ 気付いたことから課題を見出そうとしている。 <span style="float: right;">[評1]</span></p> <p>☆ 交流会開催に向けての活動計画を、視覚化し、活動の見通しをもちやすくすることができるよう、思考ツール（スケールチャート）を活用する。</p>
展開期	<p>○ 幼稚園の先生からアドバイスをもらう。</p> <p>○ 幼稚園を下見する。</p> <p>交流会のときに、自分たちが考えたことができるかたしかめないとね。</p> <p>幼稚園の教室やろうかななどを、しっかりと見て参考にしよう。</p> <p>○ 交流会企画書を作成する。</p> <p>交流会で、何をどのように行うのか、みんなで確かめるためにも企画書が必要だ。</p> <p>幼稚園の先生にも、企画書を渡しておいたほうがいいよね。</p> <p>企画書には、どのようなことを書いておけばいいのかな。</p> <p>企画書ができたなら、みんなで準備を始めよう。</p> <p>○ 交流会を行う。</p> <p>幼稚園の子どもたちは喜んでくれるかな。</p> <p>みんなで協力してがんばろう。</p> <p>相手の気持ちを大切にかかわっていこう。</p> <p>相手が喜ぶと、ぼくたちも楽しくなるね。</p>	<p>☆ 前回のアドバイスとは異なり、交流会開催に向けて、具体的な情報が得られるよう、GTと事前に打ち合わせをしておく。</p> <p>☆ 交流会開催を具体的にイメージするための、調査見学となるよう意識付けをする。</p> <p>◇ 園児との触れ合いやGTから得た情報について、思考ツールを活用することで整理・分析を行い、その結果を幼稚園との交流に生かす。 <span style="float: right;">[評2]</span></p> <p>☆ 交流会の内容を決める際、視点を明確化した上で優先順位を協同的に決めることができるように、思考ツール（座標軸）を活用する。</p> <p>☆ <u>交流会に向けて、何を準備すればいいのかわかるようにするために、思考ツール（マンダラチャート）を活用する。【考えや情報を整理する】</u></p>
まとめ期	<p>○ 学習活動を振り返る。</p> <p>人とかかわるときには、相手のことを知ることが大切なんだ。</p> <p>みんなと協力してがんばったおかげで、交流会が成功したね。</p> <p>相手のことをいっしょうけんめい考えるのは大変だった。</p> <p>これからも、人とかかわる自信がついたな。</p>	<p>◇ 調べたり交流したりして分かったことから、自分のよさや可能性に気付き、自己の生活につなげようとしている。 <span style="float: right;">[評3]</span></p> <p>☆ <u>今回の学習を通して、活動の成果の理由を明確にし、自己有用感を感じることができるようにするために、ポートフォリオを見直すよう促す。【学びが自分の成長につながっていることを自覚するための手立て】</u></p>



本時の目標

- 幼稚園との交流会に向けて、園児との触れ合いから得た情報について、思考ツールを活用して整理・分析を行い、その結果を交流会に生かそうとする態度を育てる。

学習活動（○）と子供の姿	教師の支援（☆）と評価（◇）
<p>○ 前時までの振り返りをする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">幼稚園の子どもたちとの触れ合いで気付いたことを振り返ったね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">どのように幼稚園の子どもたちとかかわっていくことがよいのかな。</div> </div>	<p>☆ 前時に取り組んだK J法の結果を参考にしよう声がけをする。</p>
<p>○ 園児とかかわる際に大切なことを、カードに書き出す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">相手の目を見て話すとかかわってくれたから、大事だと思うよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">相手のことをちゃんと調べて知ることが、うまくいくコツだと思うよ。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">何をどうするのか計画をちゃんと立てておくと、あわてないよね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">分からないときには、くわしく知っている人に聞くことも大切だったね。</div> </div>	<p>☆ <u>今までの学習の蓄積を参考にし、思いついたことをできるだけ多く書き出すことができるよう、ポートフォリオを見返すよう促す。【学びが自分の成長につながっていることを自覚するための手立て】</u></p>
<p>○ 書き出したカードを、思考ツール（ダイヤモンドランキング）で整理する。（グループ）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">一番大切だと思うものを上にしていこう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">話合っているうちに、どうやってかかわっていくことがいいのか分かってきた</div> </div>	<p>◇ 幼稚園との交流会に向けて、園児との触れ合いから得た情報について、ダイヤモンドランキングやスケールチャートを活用して整理・分析を行い、その結果を幼稚園との交流会に生かす。 <span style="float: right;">評2</span></p>
<p>○ 見出したことを全体で交流する。（ギャラリーウォーク→全体）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">あれ、他のグループと結果が違うぞ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">でも、同じような部分もあるぞ。そこが交流会で大切になるところなのかな。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">上にあるカードがそれぞれ違うってことは、すべて大切だってことかもしれないね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">交流会で、どんなことを気を付けていけばいいのか見えてきたぞ。</div> </div>	<p>☆ <u>今までの経験をふり返り、園児とかかわるために大切なことを見出すために、思考ツール（ダイヤモンドランキング）を活用する。【新たな課題の見通しをもつことができる振り返りの手立て】</u></p> <p>☆ 他のグループの結果を概観し、園児とのかかわりに大切だと思うことの多様性に気付く。</p> <p>☆ 全体の交流場面では、おおよその共通点を見出すことにより、2学期以降の交流会に向けての方向性を見出せるよう言葉がけをする。</p>
<p>○ 思考ツール（スケールチャート）使い、これからの活動について見通しを立てる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">もっと幼稚園のことや子どもたちのことを知らなきゃいけないな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">幼稚園の先生方に、交流会についてまだまだ聞かなきゃいけないことがあるな</div> </div>	<p>☆ <u>園児とのかかわりで大切な要素それぞれについて、今後どのような取組が必要なのかグループで話し合うことができるよう、思考ツール（スケールチャート）を活用する。【協同することの価値を実感する手立て】</u></p>



思考ツール「ダイヤモンドランキング」

